

# 子ども第三の居場所 「あそび〜な」活動報告

2025.3.6

# NPO法人あそびあーとこども劇場いるま

この法人は、子どもの権利条約の精神に基づき、  
子どもと大人を対象に文化芸術体験活動をつくり出し、  
子どもが心豊かに育つ地域の形成に寄与することを目的とする。

# 日本財団の「子ども第三の居場所助成金事業」

2021年10月21日 入こ支発第740号 書類提出

開催会場の打診 高齢者福祉課 西武明寿会憩いの家

2021年11月 応募

2022年 3月 採択

2022年4月1日 「子ども第三の居場所」事業にかかる協定書を結ぶ

「あそび～な」開設

※日本財団「子ども第三の居場所」事業 2024年9月末時点 236拠点

名前を記入



おやつは駄菓子  
50円分購入



## 特定非営利活動法人Learning for Allによる研修

第1回 居場所事業の目的・目標設計 & 環境構成

第2回 安心・安全な拠点運営のために

第3回 子どもの権利とウェルビーイング

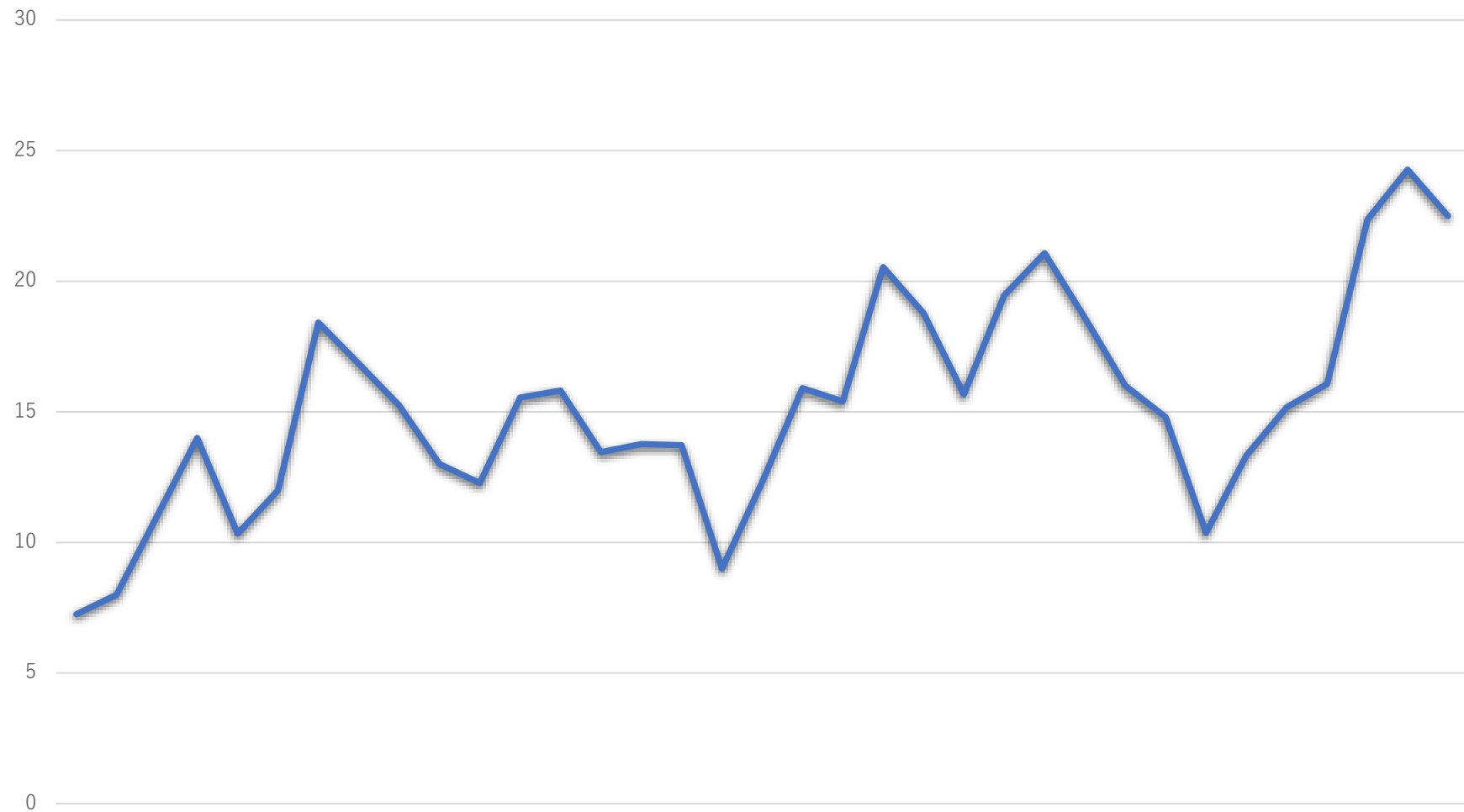
第4回 5つの機会 安心・食事・生活習慣・学習・体験

第5回 ボランティアの募集・採用/研修/サポート

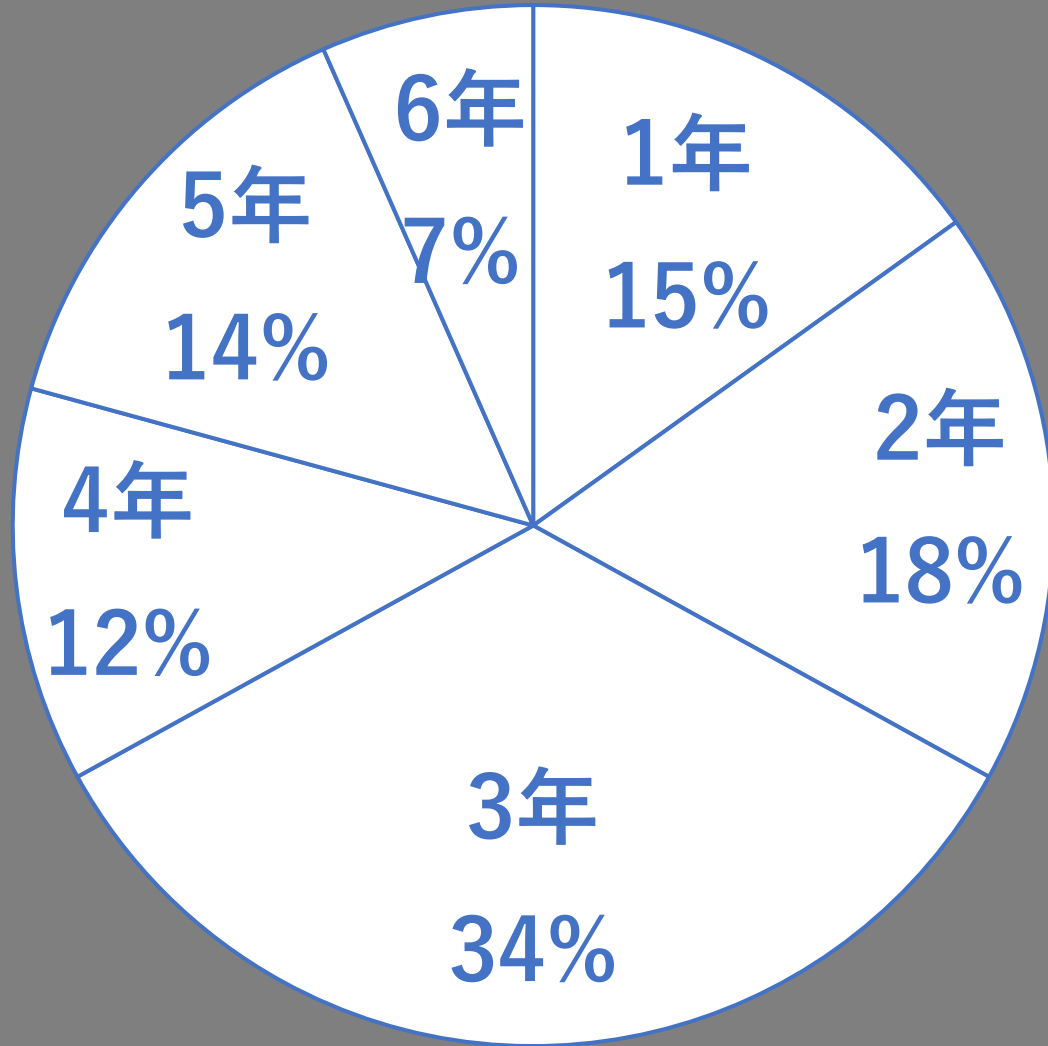
第6回 地域・関係機関連携と保護者連携/支援

2022年	開催日数	参加者数	月平均	2023年	開催日数	参加者数	月平均	2024年	開催日数	参加者数	平均
4月	8	58	7	4月	11	174	16	4月	13	274	21
5月	11	88	8	5月	11	148	13	5月	10	186	19
6月	12	132	11	6月	13	179	14	6月	11	176	16
7月	13	182	14	7月	11	151	14	7月	10	148	15
8月	9	93	10	8月	8	72	9	8月	11	114	10
9月	12	144	12	9月	13	160	12	9月	12	160	13
10月	12	221	18	10月	11	175	16	10月	11	167	15
11月	13	219	17	11月	10	154	15	11月	13	209	16
12月	12	183	15	12月	11	226	21	12月	11	246	22
1月	10	130	13	1月	9	169	19	1月	11	267	24
2月	11	135	12	2月	9	141	16	2月	10	225	23
3月	11	171	16	3月	13	253	19	3月			
合計	134	1756	13	合計	130	2002	15	合計	123	2172	18

参加人数月平均

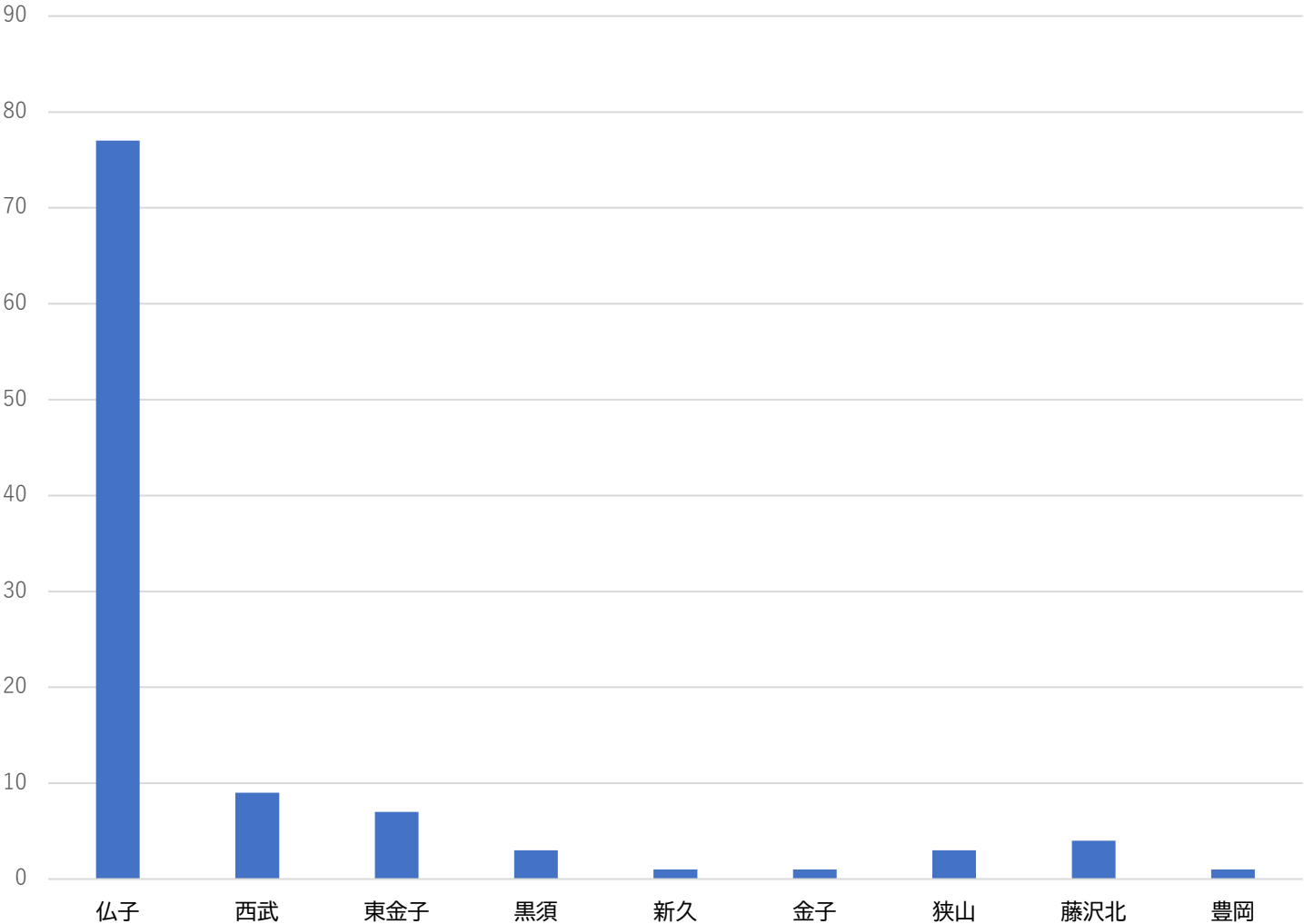


学年別登録者



1年	16名
2年	19名
3年	36名
4年	13名
5年	15名
6年	7名
	106

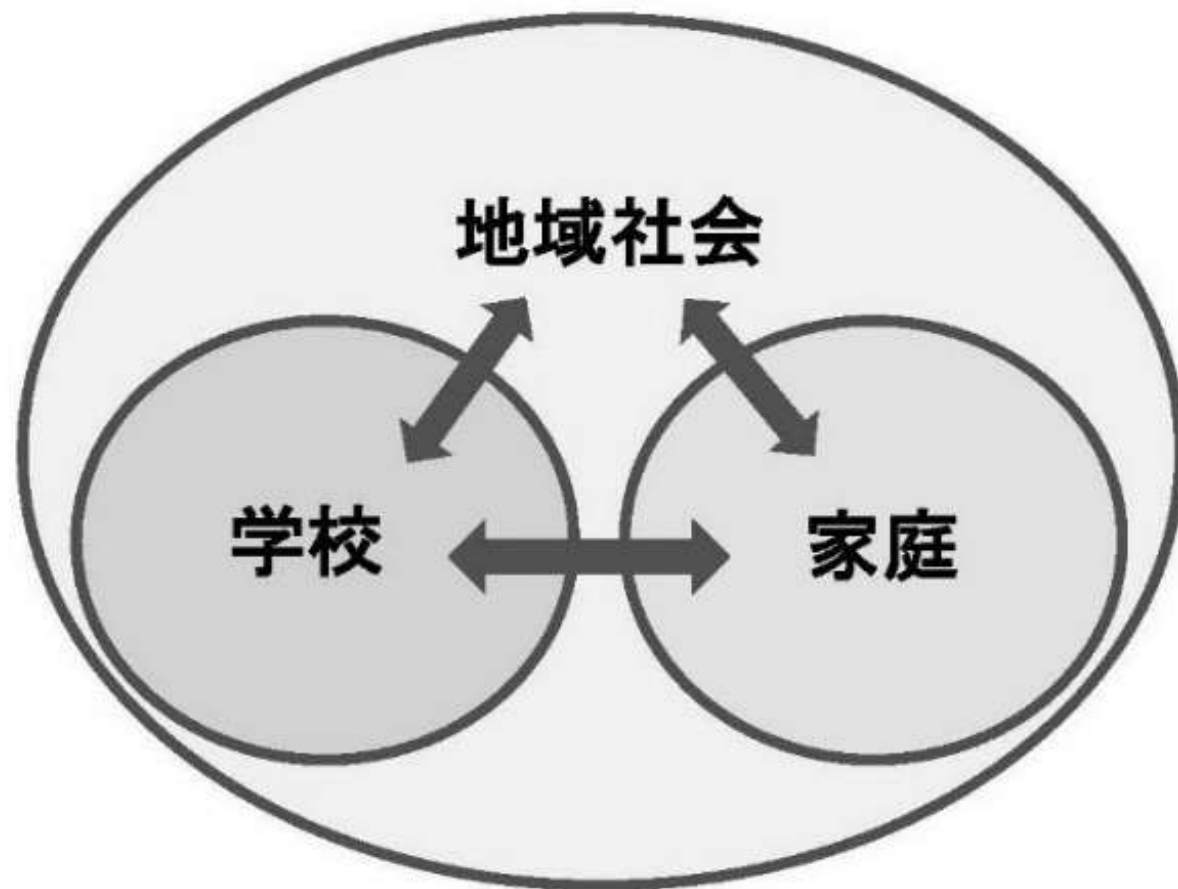
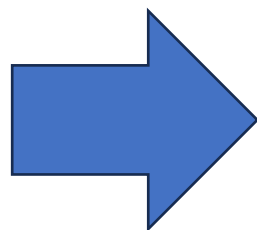
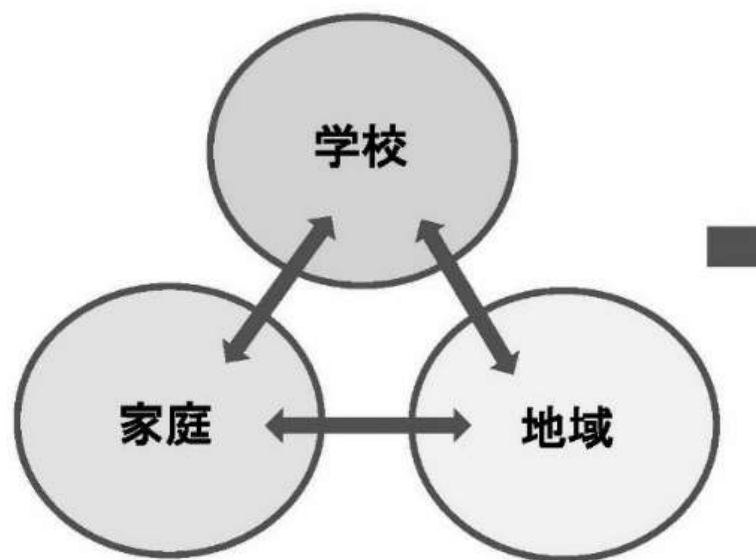
学校別登録者



仏子	77
西武	9
東金子	7
黒須	3
新久	1
金子	1
狭山	3
藤沢北	4
豊岡	1
	106

- ・ 自治会、老人会、子ども会の新しい形
- ・ 何か事を起こすときにできるつながりがたくさんあること
- ・ 拠点としての役割
- ・ こどもの声を聴き、こどもの視点に立ち、

こどもとともにつくる居場所（国の指針）



# 入間市こども計画より

## 19放課後子ども教室の充実

引き続き全ての小学校区において、余裕教室等を活用して、こどもたちにとって安全で安心な放課後等の活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、こどもたちに多様な学習、体験及び交流活動の機会を提供します。

参加を希望する全ての小学生が利用できるよう、実施方法の改善に取り組みながら運営し、放課後子ども教室事業運営協議会の意見を聴きながら事業の充実を図ります。

学童保育室に通うこどもも含めて、希望する全てのこどもが参加できるように、校内交流型や連携型として事業に取り組みます。

総合的な放課後児童対策に向けて、余裕教室の活用等、継続して教育委員会と連携・協力します。

## 20地域における居場所づくりの推進

こども・若者が学びや遊び、体験を通じて主体性や創造力を育み、自分らしく安心して過ごせる居場所を持てるように、様々な居場所づくりに取り組む市民団体等と連携し、また、地区センターや青少年活動センター、公園をはじめとする公共施設等を活用して、地域における多様で持続可能な居場所づくりを推進します。

◆放課後子ども教室の充実 希望するすべてのこどもが参加できる仕組み

◆児童センター事業、青少年活動センター事業を補うこどもが自ら歩いていける地域の居場所の必要性

◆地域こどもの生活支援強化事業（こども家庭庁支援局家庭福祉課 こどもの貧困対策担当）について

◆こどもの居場所運営の研修システム